

## 「茨城港常陸那珂港区セミナーIN高崎」開催のご案内

群馬県内地域に立地する企業の皆様へ

茨城港常陸那珂港区は、北関東の玄関港として計画・整備され、平成10年に供用開始した新しい港湾です。供用開始以来、航路の充実、港湾施設の拡充により、現在では、2つの国内定期ROR航路（苫小牧航路、北九州航路）、4つの国際定期コンテナ航路（北米航路、韓国・中国航路、中国・フィリピン・ベトナム・タイ航路、京浜港への国際フィーダー）、7つの国際定期RORO航路（北米、欧州、極東ロシア、中国・東南アジア、アフリカ、南アメリカ、豪州）が就航しています。

これら港湾機能の充実強化に加え、広域交通ネットワークの整備が進み、平成23年3月の北関東自動車道の全線開通により、群馬県地域と常陸那珂港区とのアクセスが格段に向上しています。

製造業が盛んな群馬県に立地し、国内外と原材料や製品の輸移出入など行っている企業にとりまして、物流の合理化とリスク管理は大事な課題と認識しております。

常陸那珂港区は、コンテナターミナルやアクセス道路の交通渋滞もなく、群馬県地域と陸上輸送がスムーズに行えます。常陸那珂港区を利用することで、陸上輸送がスムーズに行えるので、CO2削減効果やトラックドライバーの労働環境改善効果、トラックの回転数向上によるコスト削減効果など期待出来ます。

また、切迫性が指摘されている首都直下型地震が万一発生した場合のリダンダンシー確保、あるいは東京オリンピックや首都高速道路の大規模改修に備えた代替輸送ルートとして、常陸那珂港区を利用することでリスク分散につながります。

このように、常陸那珂港区の利用は皆様の企業活動にメリットをもたらすことが出来ると確信しています。

この度、常陸那珂港振興協会と茨城県では、ひたちなか市、東海村とともに、群馬県、高崎市、群馬県商工会連合会、高崎商工会議所、株式会社太田国際貨物ターミナルのご協力を頂き、別添のとおり、常陸那珂港区の“今”、そして利便性や利用のメリットを紹介し、より多くの皆様に利用していただきたく「茨城港常陸那珂港区セミナーIN高崎」を開催することにいたしました。今回は、外航定期コンテナ航路と国内定期ROR航路の運航船社によるプレゼンテーションと太田国際貨物ターミナルのご説明をいたします。

また、セミナーのあとに交流会の場を設けました。茨城港常陸那珂港区の関係企業も参加しますので、群馬県内の企業の方々との情報交換から新たな物流が広がっていくことを期待しております。

つきましては、企業の皆様には、ご多忙の折誠に恐縮ですが、何卒ご出席を賜りますよう、ご案内申し上げます。

平成26年1月吉日

常陸那珂港振興協会 会長 本間 源基（ひたちなか市長）

茨城県土木部 港湾振興監 中島 洋

※ 参加していただいた皆様全員に、地元名産品のお土産をご用意しております。